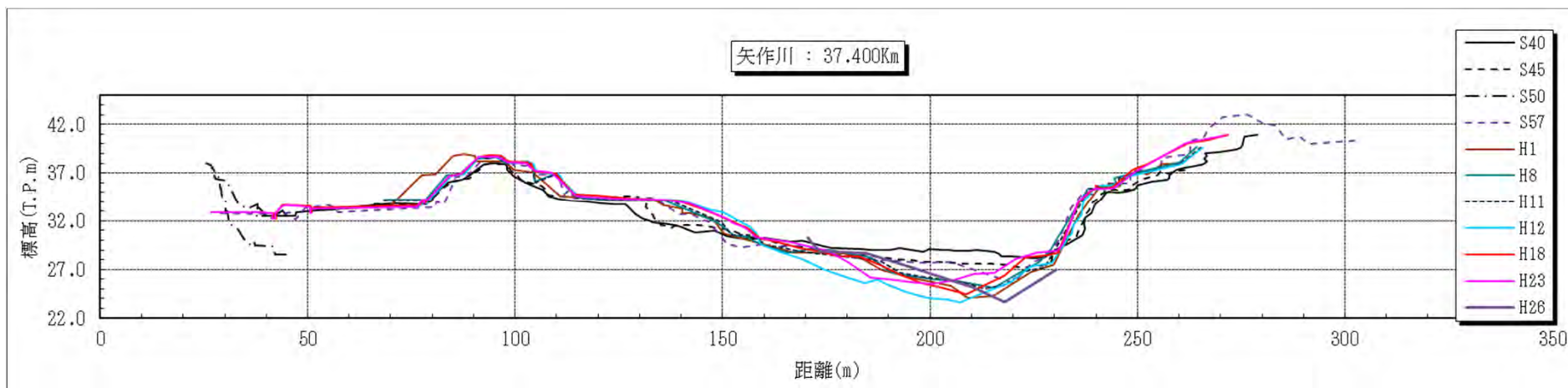
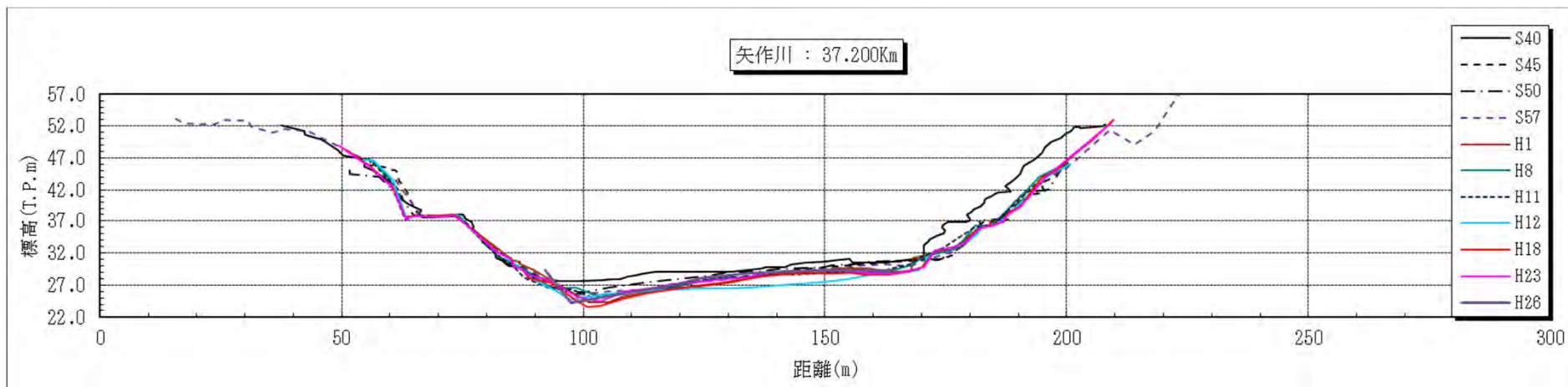
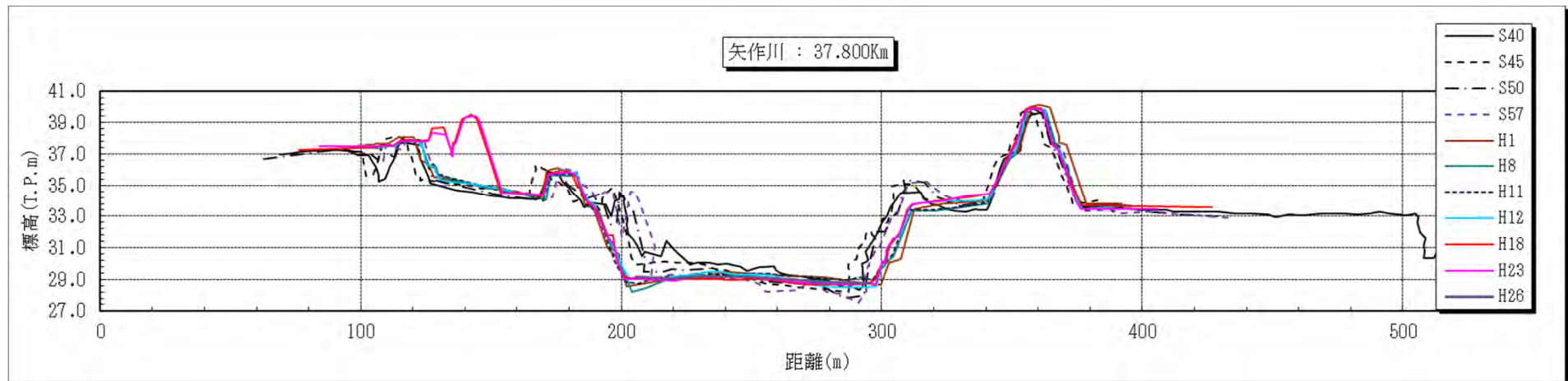
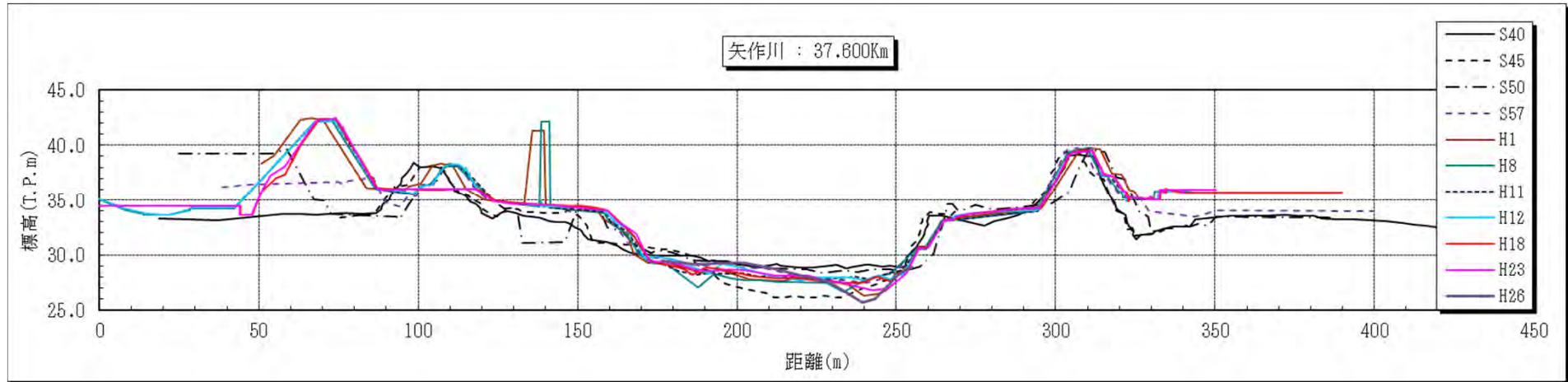


久澄橋下流部の瀬について(横断測量)

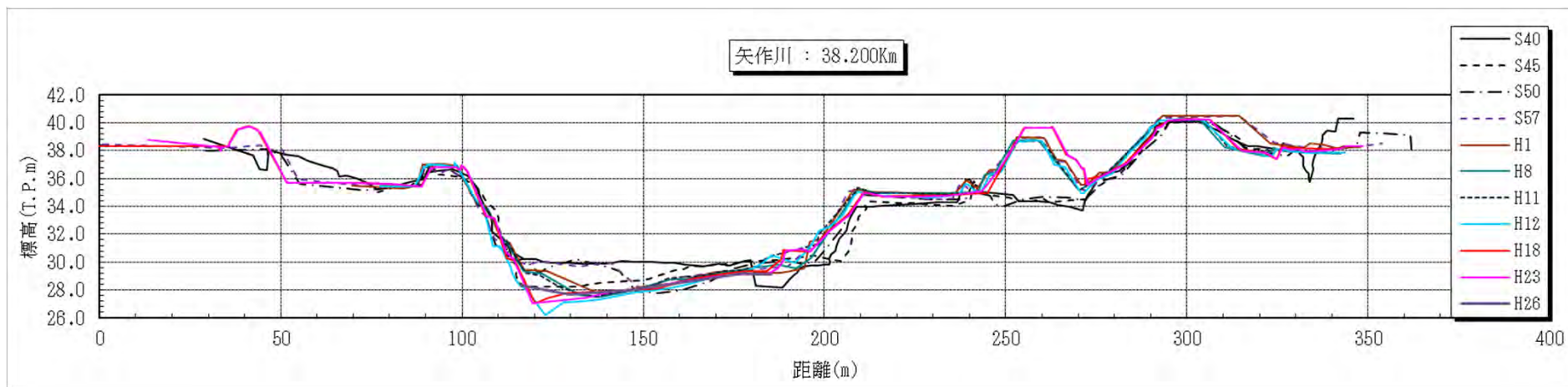
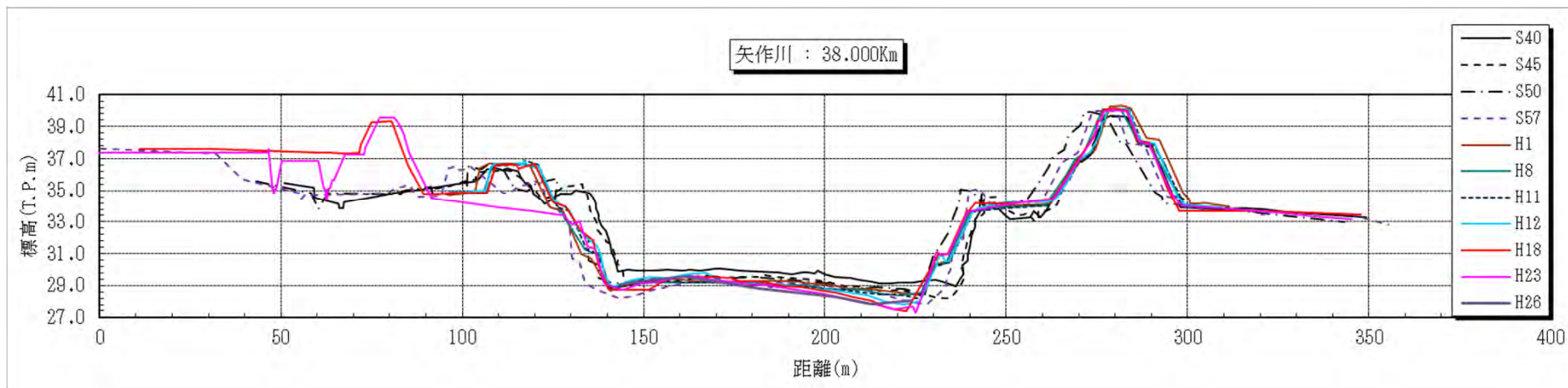
資料-3



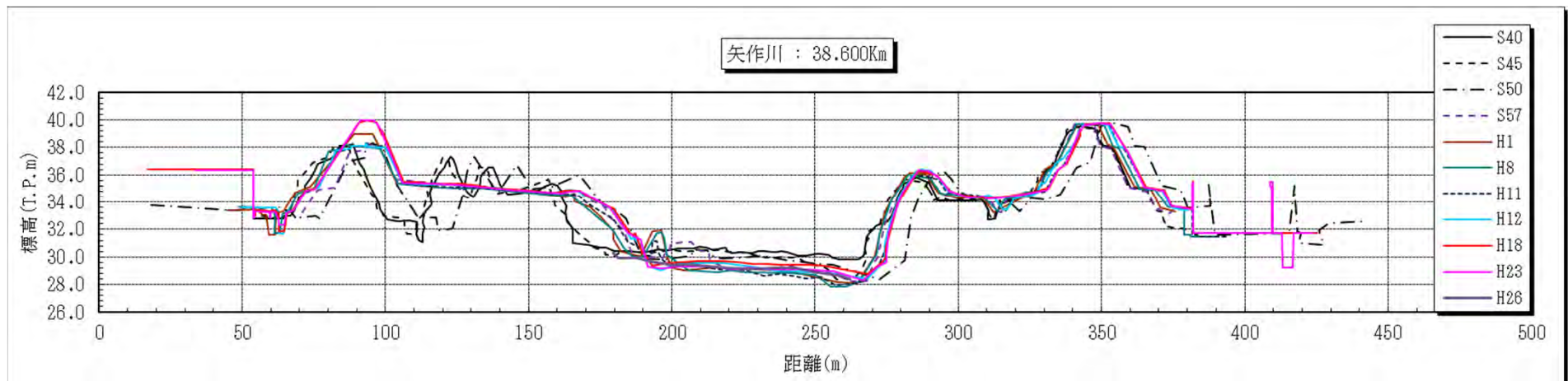
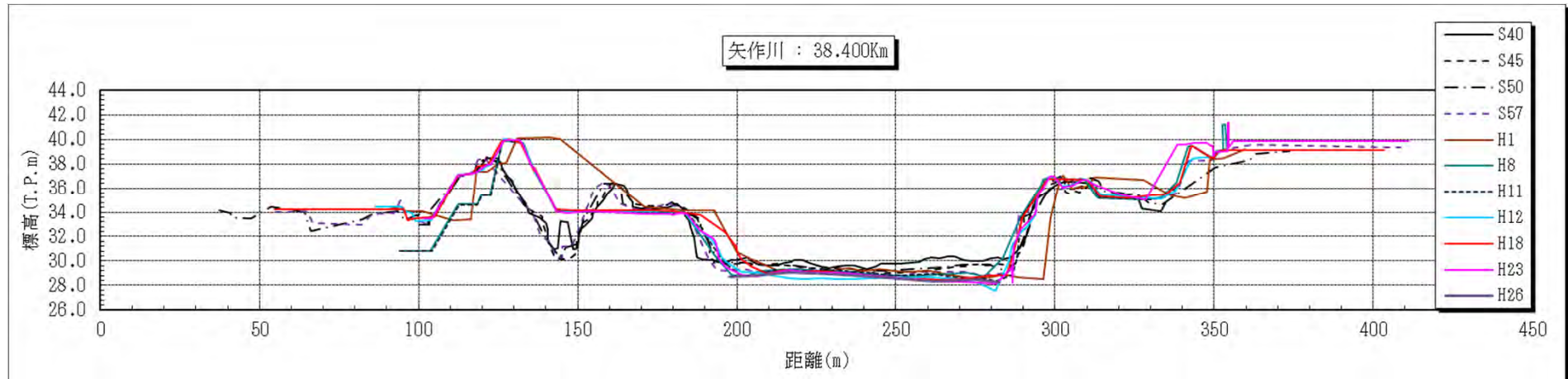
久澄橋下流部の瀬について(横断測量)



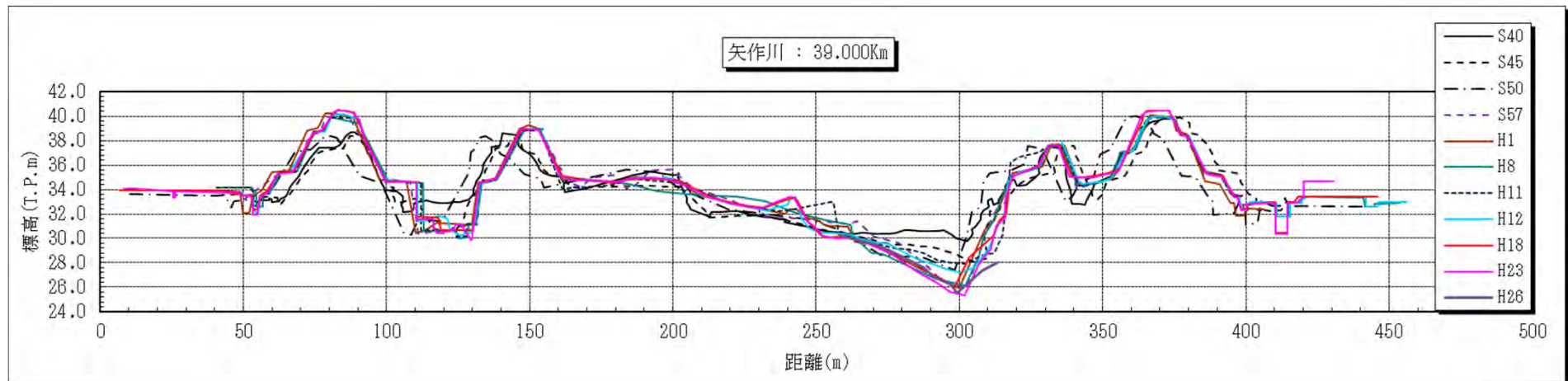
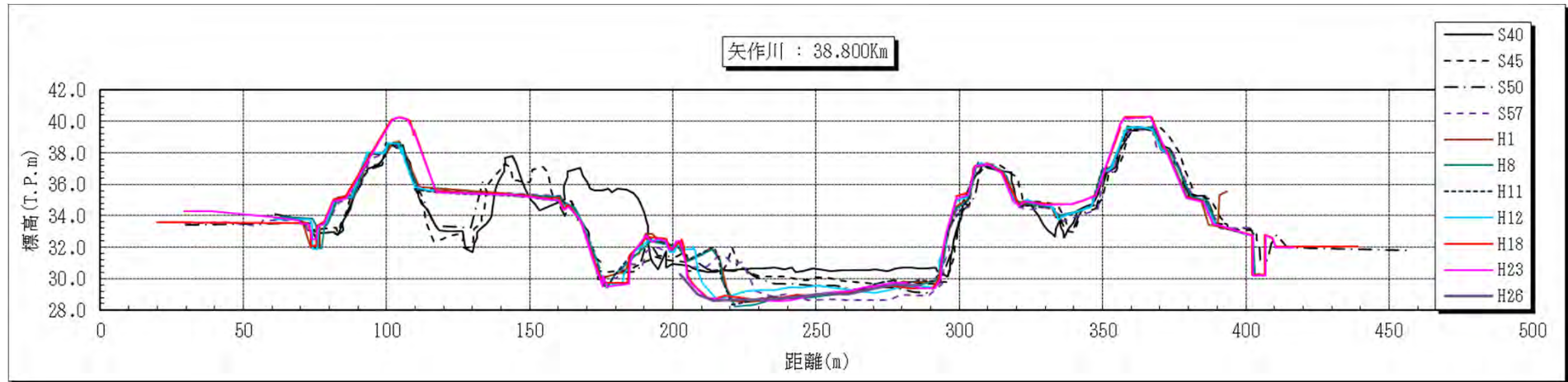
久澄橋下流部の瀬について(横断測量)



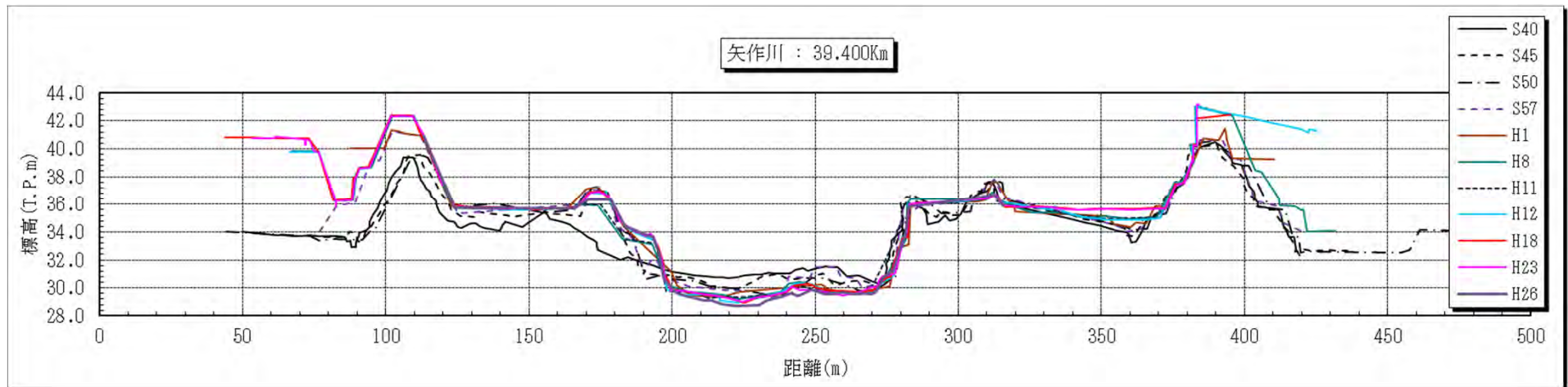
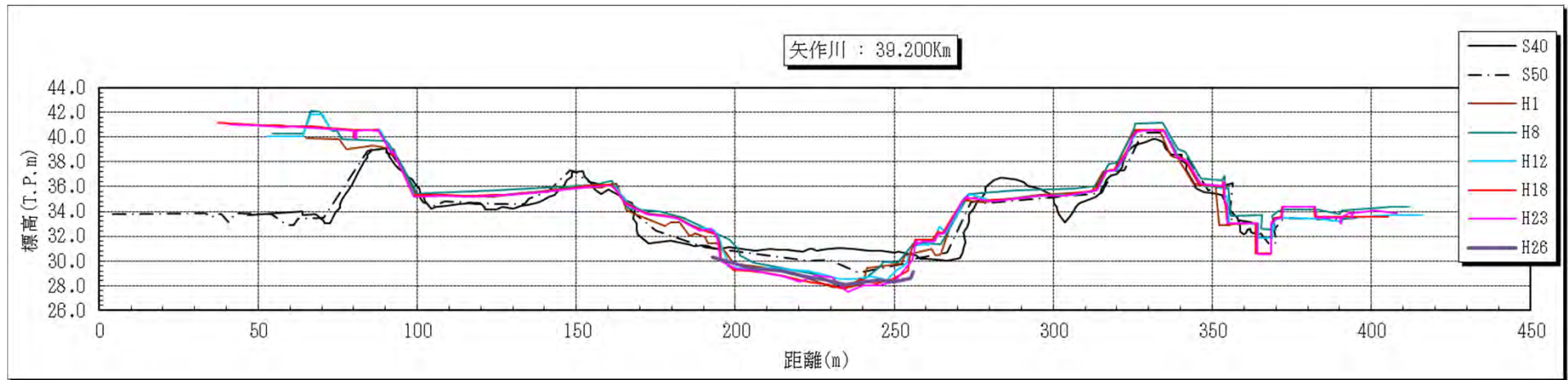
久澄橋下流部の瀬について(横断測量)



久澄橋下流部の瀬について(横断測量)



久澄橋下流部の瀬について(横断測量)



久澄橋下流部の河道掘削について

①久澄橋下流部の掘削土量はどれだけだったか？

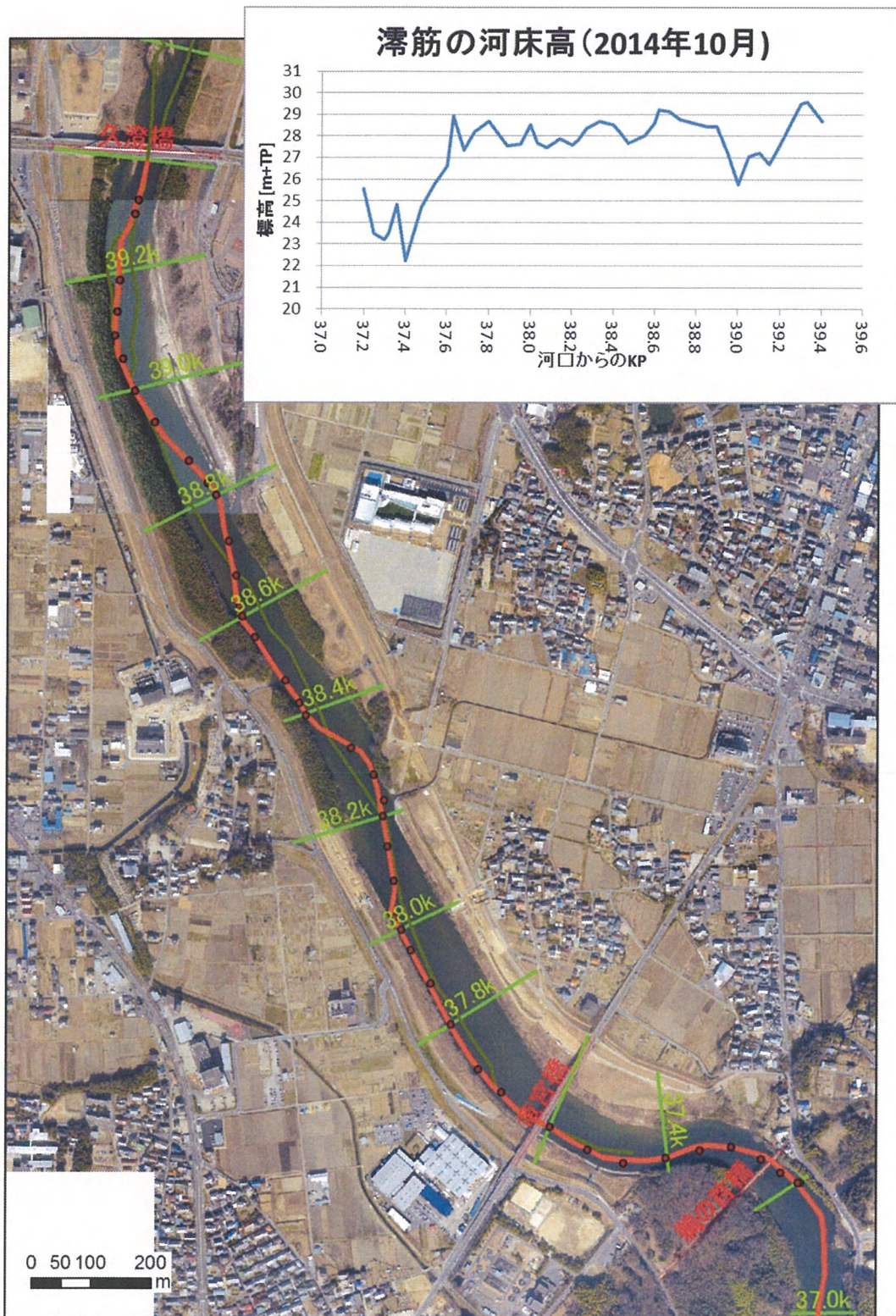


掘削量約51,000m³

掘削量約38,000m³



掘削量約15,000m³



大同大学 縦断測量結果

②明治用水取水の際の水位設定基準は最近30年間にどう変わったか？明治用水ダム湖のバックウォーターが上流へのぼってきたと思われるが事実関係は？

明治用水頭首工



事務所 TEL 0566-76-6241(代)
〒446-0065 FAX 0566-75-7944
愛知県安城市大東町22番16号
<http://www.sun-inet.or.jp/meiji01/>

水源管理所 TEL 0565-28-0466
〒471-0822 FAX 0565-27-0946
愛知県豊田市水源町6丁目10番地

明治用水土地改良区

明治用水頭首工 概要

あらまし

明治用水は都築弥厚翁によって計画（1827年）され、明治13年4月（1880年）に通水した。これによって現在の安城市を中心に約8000haの農地が拓かれ、往時「日本デンマーク」と呼ばれる農業先進地となり、今日では地域発展の大動脈となっている。

明治用水の取水位置は最初この地点から約2km上流から取水した。次に明治34年（1901年）上流400mに石造り堰堤（左岸側にその一部の堰跡が見える）を造築したが、これも老朽化したため昭和32年（1957年）この地に農林水産省によって現頭首工が国営かんがい排水事業の一環として建造された。

その後河床低下や洪水その他の諸条件の変化に対応するため護床、護岸、ゲートの補強、操作施設の増強等が53年度から58年度まで国営かんがい排水事業（施設整備）と愛知県水道用水供給事業等との共同事業で整備された。

かんがい地域

明治地域	安城市、岡崎市、豊田市、知立市 刈谷市、高浜市、碧南市、西尾市	} 8市4町
南部及び第二地域	幸田町、吉良町、幡豆町、一色町	

取水量及び関連事業

右岸	34.02m ³ /秒	矢作川総合明治地域農業用水	30.00m ³ /秒
		愛知県西三河工業用水	4.02 〃
左岸	8.17m ³ /秒	矢作川総合南部地域農業用水	1.44 〃
		矢作川第二地区農業用水	5.50 〃
		愛知県水道用水	1.23 〃

施設の概要

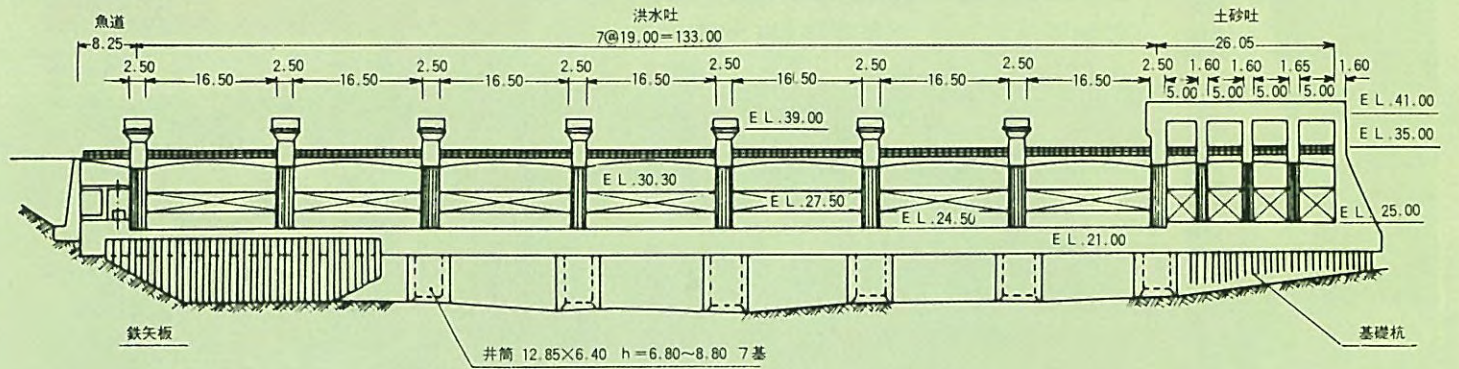
型式	フローティングタイプ
堤長	ℓ=167.30m
洪水吐	経間16.50m×扉高2.80m×7門（ローラーゲート）ℓ=133.00m エプロン長35.50m、護床工長99.2m（異形ブロック）
土砂吐	経間5.00m×扉高5.30m×4門（ローラーゲート）ℓ=26.05m エプロン長35.50m、護床工長125.0m（異形ブロック）
その他	（魚道他） ℓ=8.25m
堰上高	（取水位） E.L. 30.10m
付帯施設	
取水工	
右岸	経間3.10m×扉高2.10m×4門（スルースゲート）
左岸	経間1.50m×扉高2.16m×1門（スルースゲート） 経間2.00m×扉高2.16m×1門（スルースゲート）
魚道	右岸 階段式 巾2.0m 1ヶ所 左岸 階段式 巾3.0m 1ヶ所
沈砂池	巾員 10.00m×4連 ℓ=50.0m 沈砂容量 740m ³
管理橋	巾員 3.60m 橋長 ℓ=170.0m
操作制御施設	機側及び遠方操作
予備ゲート	洪水吐 経間18.0m×扉高2.8m×1門（鋼製フローティングゲート） 土砂吐 経間 5.0m×扉高5.3m×1門（鋼製角落しゲート）

施設の管理者

明治用水土地改良区

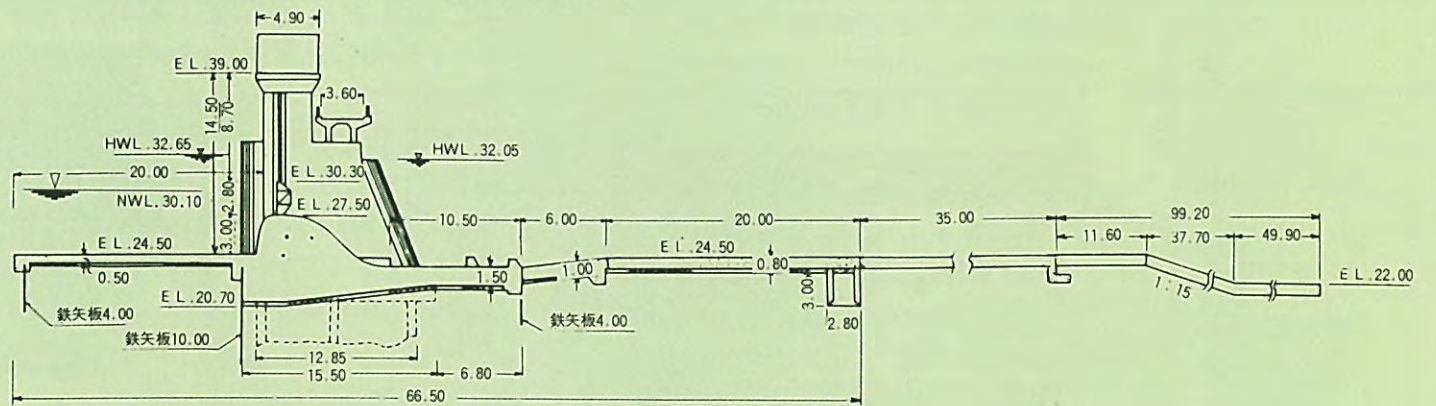
正面图

【標準断面图】



断面图

【洪水吐部】



【土砂吐部】

